

# 北陸地域の総合経済動向 (2026年1月指標を中心として)

2026年3月26日

経済産業省 中部経済産業局  
電力・ガス事業北陸支局

- 注) 1. 比較は、断りのあるものを除き、2026年1月実績値による。  
2. 「P」は、速報値。  
3. 「北陸地域」とは、富山、石川及び福井の3県を指す。  
4. 前月比および前年同月比は、増減率(%)。

次回公表予定日 2026年4月22日(水曜日)

(お問合せ先)

中部経済産業局 電力・ガス事業北陸支局

北陸経済企画調査室長 野村

担当：土田、上野

電話：076-432-5590 (直通)

## 北陸地域の総合経済動向 (2026年1月指標を中心として)

### 北陸地域の経済動向は、持ち直しの動きがみられる。

総括判断は、2024年6月発表以来、21か月ぶりに上方修正。

- 生産は、持ち直しの動きがみられる。
- 個人消費は、緩やかに改善している。
- 設備投資は、全産業、製造業、非製造業において前年度を上回る計画となっている。
- 公共投資は、請負金額が4か月ぶりに前年を下回る。
- 住宅投資は、新設住宅着工戸数が10か月ぶりに前年を上回る。
- 貿易は、輸出は5か月ぶりに前年を下回り、輸入は4か月連続で前年を下回る。
- 雇用は、新規求人数は6か月連続で前年を下回り、有効求人倍率は前月と同値であった。
- 企業倒産は、企業倒産件数が4か月ぶりに前年を上回る。

先行きについては、能登半島地震・奥能登豪雨、イラン情勢など国際情勢、米国の関税措置、為替、エネルギー・原材料価格、商品価格、賃金の動向等による影響などを注視していく必要がある。

# 判断の推移

公表年		2025年	2025年	2025年	2026年	2026年	2026年
公表月日		10月22日	11月21日	12月24日	1月23日	2月25日	3月26日
実績月		2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月	2025年12月	2026年1月
総括判断		持ち直しの動きに弱さがみられる (9か月連続)	持ち直しの動きに弱さがみられる (10か月連続)	持ち直しの動きに弱さがみられる (11か月連続)	持ち直しの動きに弱さがみられる (12か月連続)	持ち直しの動きに弱さがみられる (13か月連続)	持ち直しの動きがみられる(↑)
生産 (総合)		弱い動きとなっている (6か月連続)	弱い動きとなっている (7か月連続)	弱い動きとなっている (8か月連続)	弱い動きとなっている (9か月連続)	弱い動きとなっている (10か月連続)	持ち直しの動きがみられる(↑)
生産の 主要業種 の判断 推移	◎化学工業	横ばい (11か月連続)	横ばい (12か月連続)	横ばい (13か月連続)	横ばい (14か月連続)	横ばい (15か月連続)	持ち直しの動き(↑)
	◎電子部品・デバイス工業	後退の動き (6か月連続)	下げ止まり(↑)	下げ止まり (2か月連続)	下げ止まり (3か月連続)	持ち直しの動き(↑)	持ち直しの動き (2か月連続)
	◎生産用機械工業	持ち直しの動き (4か月連続)	持ち直しの動き (5か月連続)	<u>足踏み状態(↓)</u>	足踏み状態 (2か月連続)	弱い動き(↓)	弱い動き (2か月連続)
	◎金属製品工業	弱い動き (7か月連続)	弱い動き (8か月連続)	弱い動き (9か月連続)	弱い動き (10か月連続)	弱い動き (11か月連続)	弱い動き (12か月連続)
	◎繊維工業	下げ止まり (16か月連続)	下げ止まり (17か月連続)	下げ止まり (18か月連続)	下げ止まり (19か月連続)	横ばい	横ばい (2か月連続)
個人消費		緩やかに改善している (17か月連続)	緩やかに改善している (18か月連続)	緩やかに改善している (19か月連続)	緩やかに改善している (20か月連続)	緩やかに改善している (21か月連続)	緩やかに改善している (22か月連続)

(注) 下線部は、先月からの変更箇所。

# 動向の推移

公表年		2025年	2025年	2025年	2026年	2026年	2026年
公表月日		10月22日	11月21日	12月24日	1月23日	2月25日	3月26日
実績月		2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月	2025年12月	2026年1月
主要の動き	◎設備投資	全産業、製造業、非製造業において前年度を上回る計画となっている	全産業、製造業、非製造業において前年度を上回る計画となっている	全産業、製造業、非製造業において前年度を上回る計画となっている	全産業、製造業、非製造業において前年度を上回る計画となっている	全産業、製造業、非製造業において前年度を上回る計画となっている	全産業、製造業、非製造業において前年度を上回る計画となっている
	◎公共投資	請負金額は16か月ぶりに前年を下回る	請負金額は2か月連続で前年を下回る	請負金額は3か月ぶりに前年を上回る	請負金額は2か月連続で前年を上回る	請負金額は3か月連続で前年を上回る	請負金額は4か月ぶりに前年を下回る
	◎住宅投資	新設住宅着工戸数は5か月連続で前年を下回る	新設住宅着工戸数は6か月連続で前年を下回る	新設住宅着工戸数は7か月連続で前年を下回る	新設住宅着工戸数は8か月連続で前年を下回る	新設住宅着工戸数は9か月連続で前年を下回る	新設住宅着工戸数は10か月ぶりに前年を上回る
	◎貿易	輸出は5か月連続で前年を下回り、輸入は2か月連続で前年を下回る	輸出は6か月ぶりに前年を上回り、輸入は3か月ぶりに前年を上回る	輸出は2か月連続で前年を上回り、輸入は2か月ぶりに前年を下回る	輸出は3か月連続で前年を上回り、輸入は2か月連続で前年を下回る	輸出は4か月連続で前年を上回り、輸入は3か月連続で前年を下回る	輸出は5か月ぶりに前年を下回り、輸入は4か月連続で前年を下回る
	◎雇用	新規求人数は3か月ぶりに前年を下回り、有効求人倍率は前月から低下した	新規求人数は2か月連続で前年を下回り、有効求人倍率は前月から低下した	新規求人数は3か月連続で前年を下回り、有効求人倍率は前月から低下した	新規求人数は4か月連続で前年を下回り、有効求人倍率は前月から低下した	新規求人数は5か月連続で前年を下回り、有効求人倍率は前月から低下した	新規求人数は6か月連続で前年を下回り、有効求人倍率は前月と同値であった
	◎企業倒産	企業倒産件数は5か月連続で前年を上回る	企業倒産件数は6か月連続で前年を上回る	企業倒産件数は8か月ぶりに前年を下回る	企業倒産件数は2か月連続で前年を下回る	企業倒産件数は3か月連続で前年を下回る	企業倒産件数は4か月ぶりに前年を上回る

# 1. 生産

## 生産は、持ち直しの動きがみられる。

鉱工業生産の動向を指数（1月速報）で見ると、化学工業（医薬品）、金属製品工業（建築用金属製品）などが増加したことから、前月比8.9%増と2か月連続で上昇となった。

前年同月比は3.0%増と2か月連続で前年を上回った。

主要業種の動向をみると、化学工業は、後発医薬品中心に医薬品の需要が好調に推移していることから持ち直しの動きとなっている。電子部品・デバイス工業は、海外向け自動車部品などの一部に回復の動きがみられ持ち直しの動きとなっている。生産用機械工業は、海外向けの一部が振るわず弱い動きとなっている。金属製品工業は、建築用金属製品などが増加したもののアルミニウムサッシが依然低調なことなどから弱い動きとなっている。繊維工業は、海外向けが堅調なことなどから横ばいとなっている。以上のことから、判断を20か月ぶりに上方修正し「持ち直しの動きがみられる」とした。

# 1. 生産

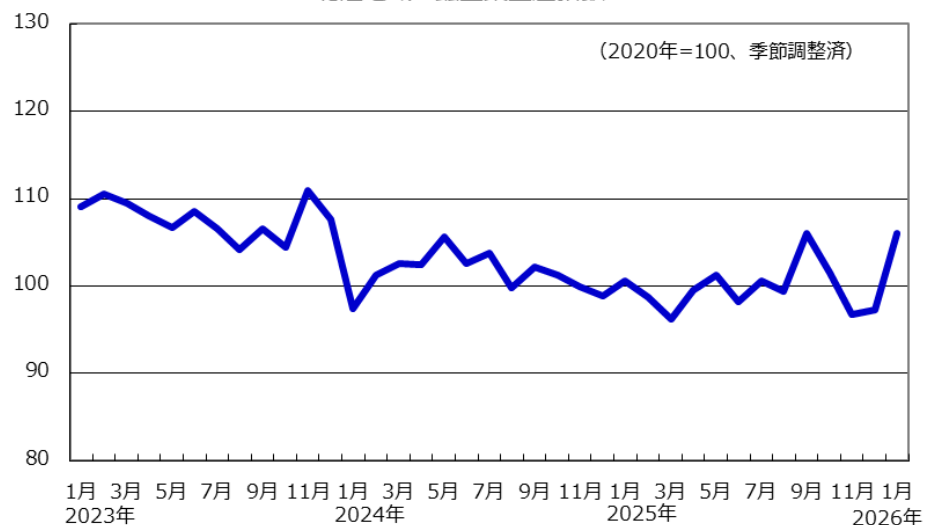
## 北陸地域

季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 12月	2026年 1月p		2026年 1月p	
97.3	106.0	8.9	96.3	3.0

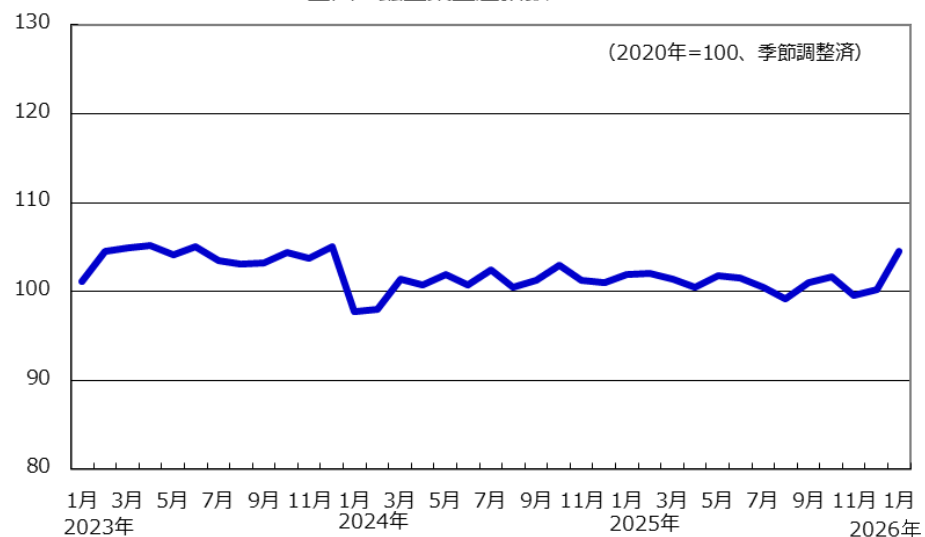
## 全国

季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 12月	2026年 1月		2026年 1月	
100.2	104.5	4.3	95.0	0.7

北陸地域 鉱工業生産指数



全国 鉱工業生産指数



# 1. 生産

## (1) 化学工業

医薬品などが増加したことから、前月比は13.5%増と2か月連続で上昇。

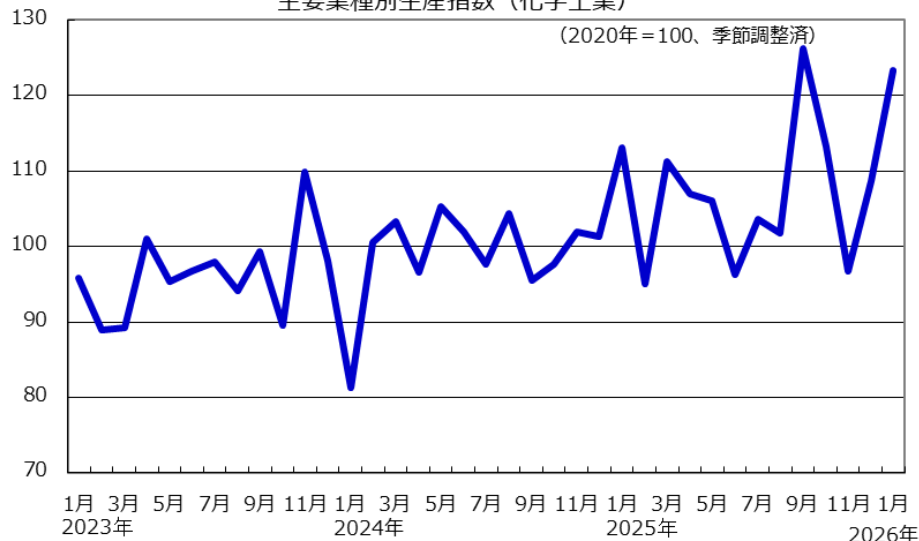
季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 12月	2026年 1月p		2026年 1月p	
108.6	123.3	13.5	107.1	5.8

## (2) 電子部品・デバイス工業

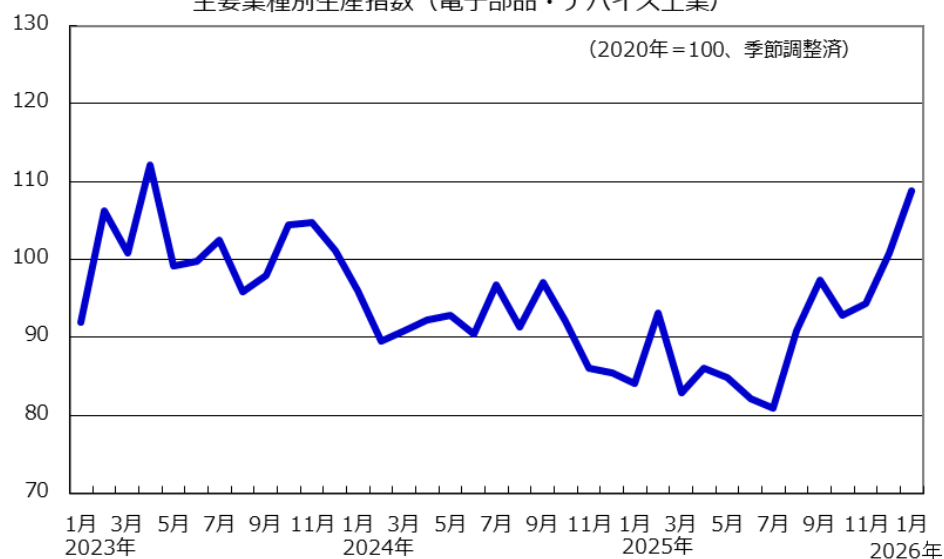
電子デバイスなどが増加したことから、前月比は7.8%増と3か月連続で上昇。

季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 12月	2026年 1月p		2026年 1月p	
100.9	108.8	7.8	98.2	27.2

主要業種別生産指数（化学工業）



主要業種別生産指数（電子部品・デバイス工業）



# 1. 生産

## (3) 生産用機械工業

半導体製造装置などが増加したことから、前月比は5.1%増と5か月ぶりに上昇。

季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 12月	2026年 1月p		2026年 1月p	
93.9	98.7	5.1	95.3	▲ 4.5

## (4) 金属製品工業

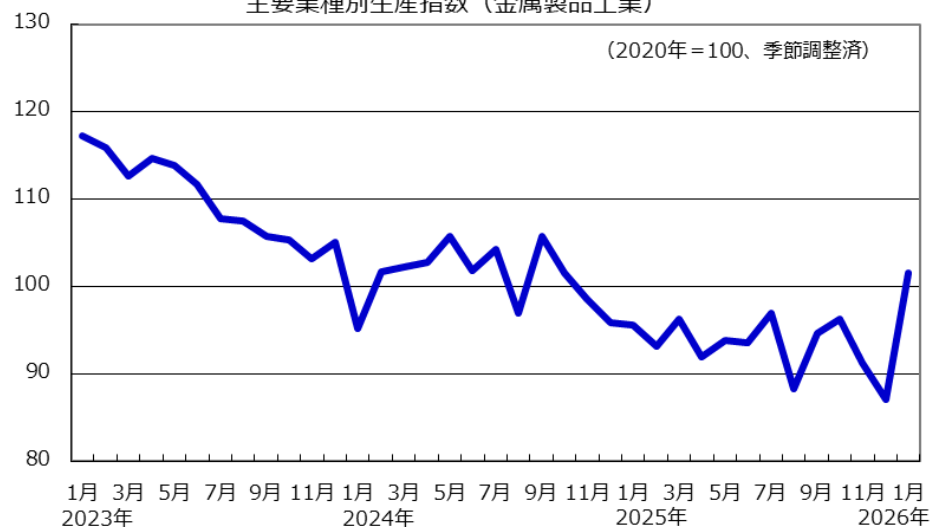
建築用金属製品などが増加したことから、前月比は16.6%増と3か月ぶりに上昇。

季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 12月	2026年 1月p		2026年 1月p	
87.1	101.6	16.6	93.8	3.1

主要業種別生産指数（生産用機械工業）



主要業種別生産指数（金属製品工業）

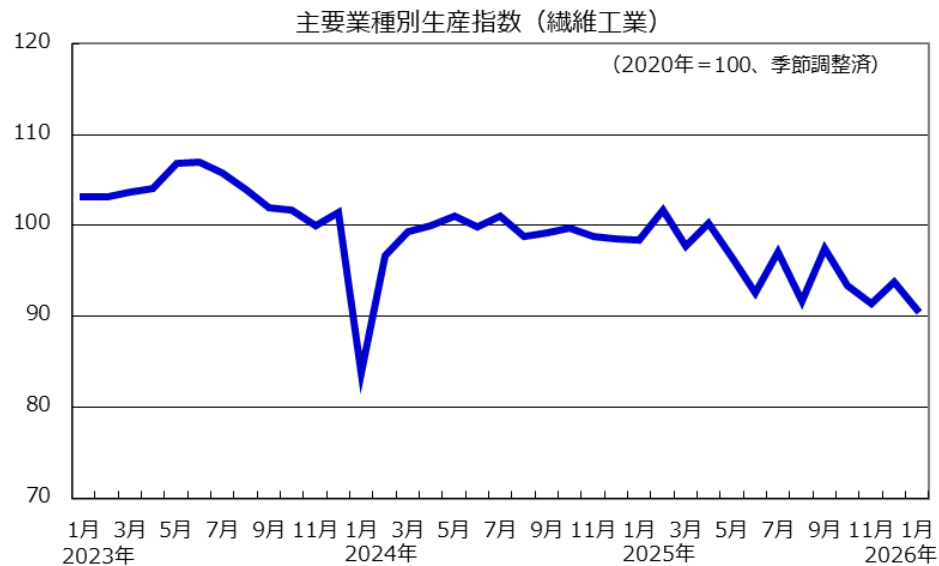


# 1. 生産

## (5) 繊維工業

繊維が減少したことから、前月比は3.2%減と2か月ぶりに低下。

季節調整済指数		前月比	原指数	前年同月比
2025年 12月	2026年 1月p		2026年 1月p	
93.8	90.8	▲ 3.2	88.2	▲ 8.2



## 2. 個人消費

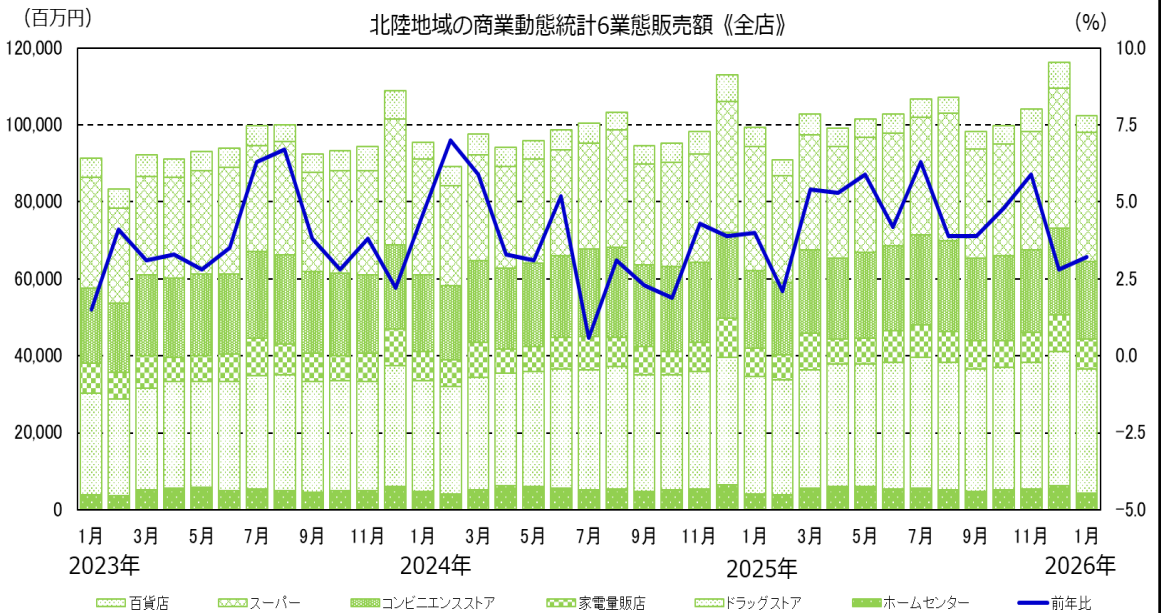
### 個人消費は、緩やかに改善している。

1月の商業動態統計小売6業態販売額（全店ベース（速報値））は、前年同月比3.2%増と47か月連続で前年を上回った。

百貨店は、衣料品などが低調。スーパーは、物価の上昇に伴い販売額が増加。コンビニエンスストアは、おにぎり等が堅調なものの客数は伸び悩み。家電大型専門店は、暖房用品などが好調。ドラッグストアは、新規出店効果に加え、飲食料品が好調。ホームセンターは、除雪用品などが好調。

以上のことから、判断を据え置き2か月連続で「緩やかに改善している」とした。

1月速報値	販売額:百万円 (全店)	前年同月比(全店)
百貨店	4,475	▲ 9.1
スーパー	33,521	4.3
コンビニエンスストア	20,139	▲ 0.0
家電大型専門店	7,884	4.5
ドラッグストア	32,173	5.5
ホームセンター	4,306	6.5
合計	102,497	3.2



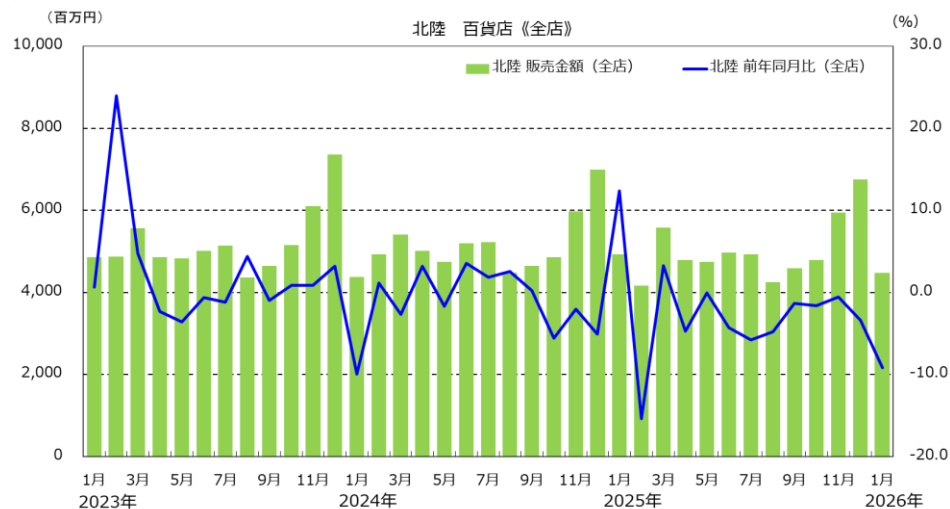
出所: 中部経済産業局、近畿経済産業局、経済産業省

## 2. 個人消費

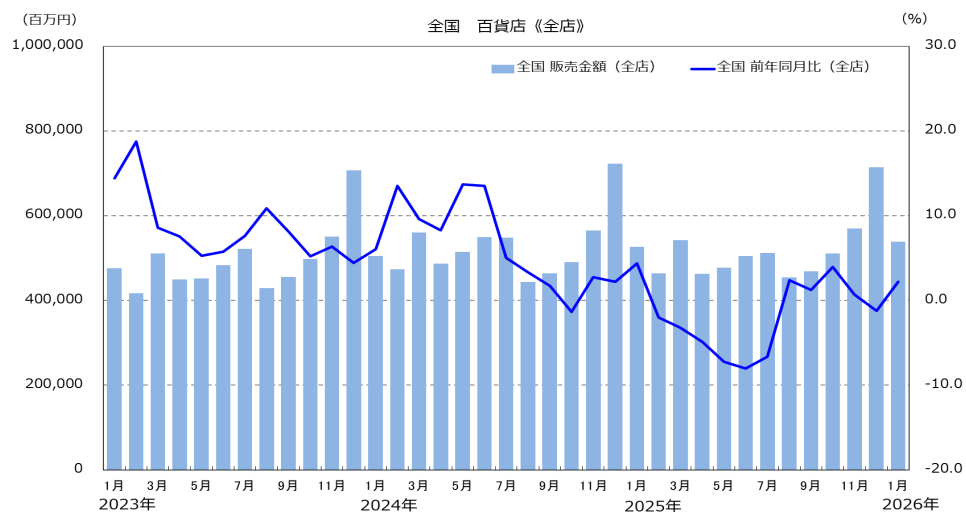
### (1) 百貨店販売額

百貨店は、10か月連続で前年を下回った。

北陸 1月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
百貨店	4,475	▲ 9.1	▲ 9.1



全国 1月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
百貨店	539,082	2.2	2.4



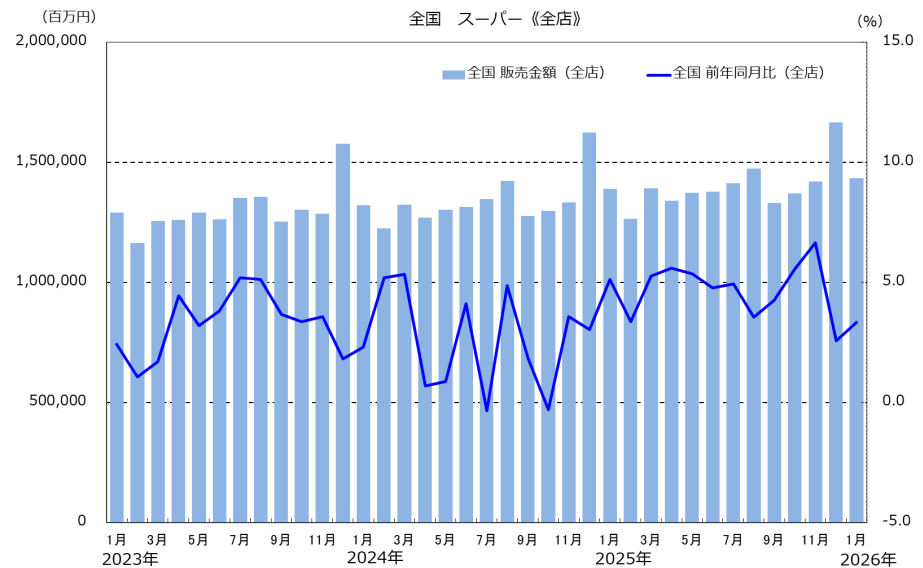
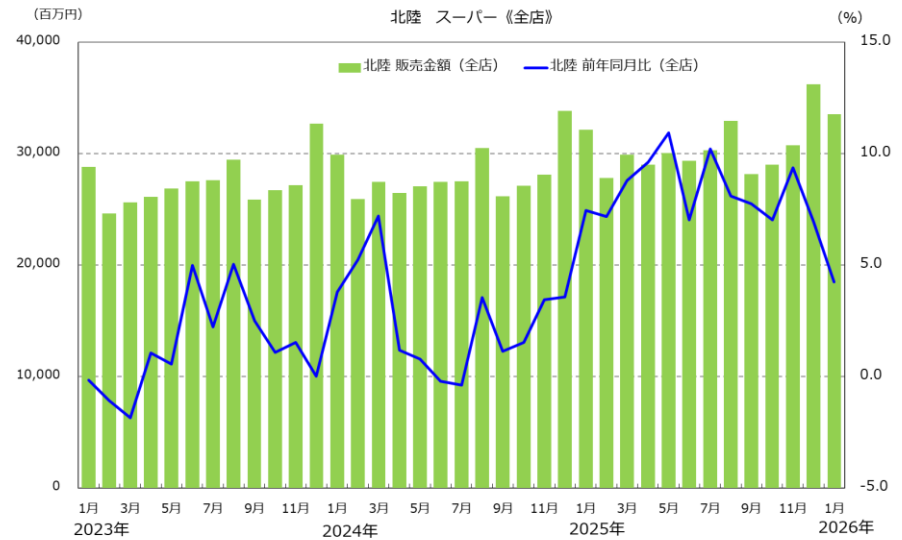
## 2. 個人消費

### (2) スーパー販売額

スーパーは、18か月連続で前年を上回った。

北陸 1月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
スーパー	33,521	4.3	3.4

全国 1月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
スーパー	1,434,843	3.3	2.6



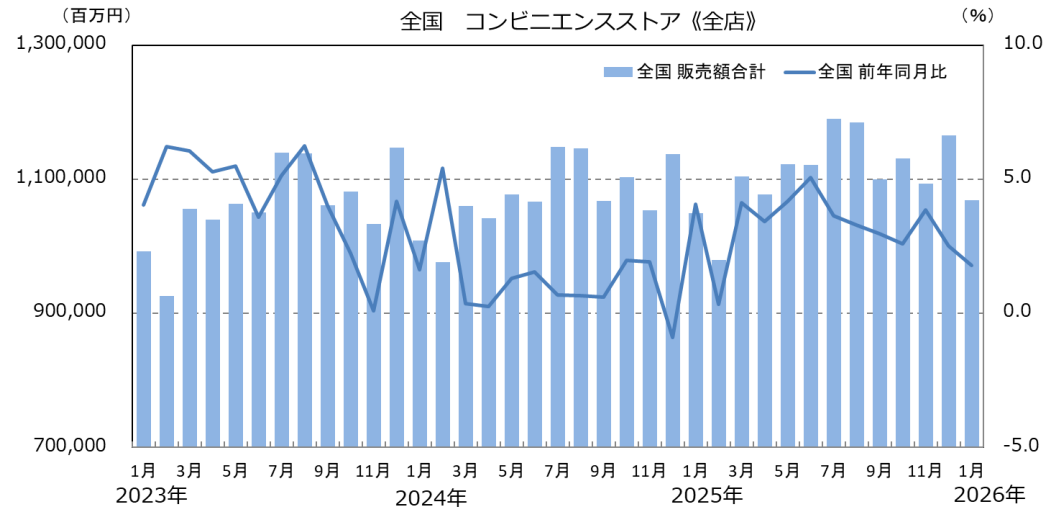
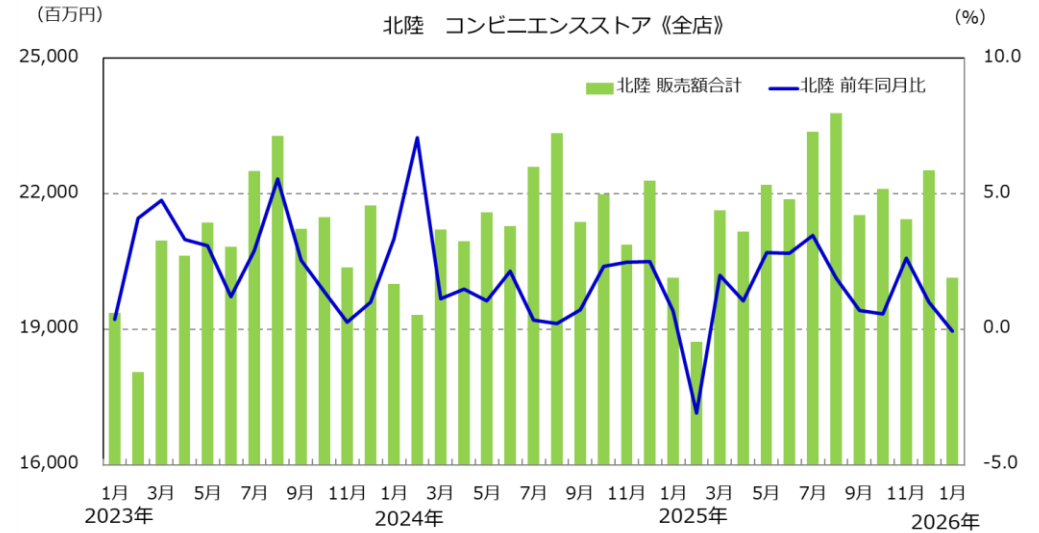
## 2. 個人消費

### (3) コンビニエンスストア販売額

コンビニエンスストアは、11か月ぶりに前年を下回った。

北陸 1月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
コンビニエンスストア	20,139	▲ 0.0

全国 1月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
コンビニエンスストア	1,068,382	1.8



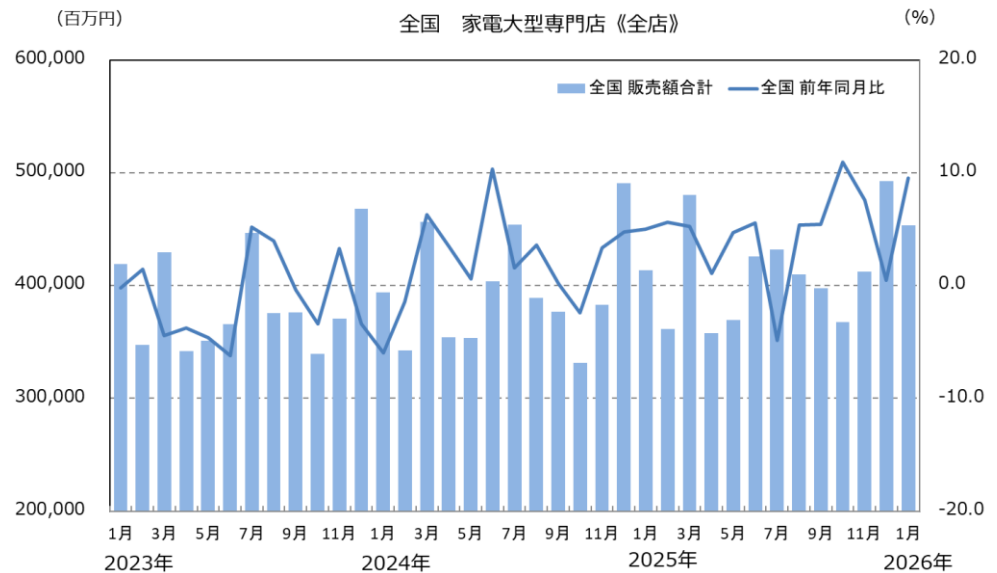
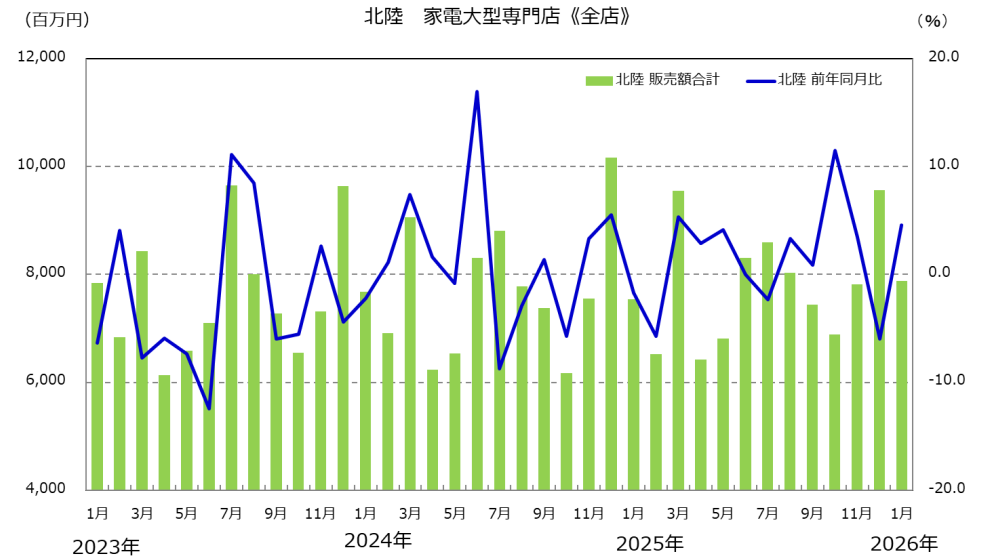
## 2. 個人消費

### (4) 家電大型専門店販売額

家電販売は、2か月ぶりに前年を上回った。

北陸 1月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
家電大型専門店	7,884	4.5

全国 1月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
家電大型専門店	453,367	9.6



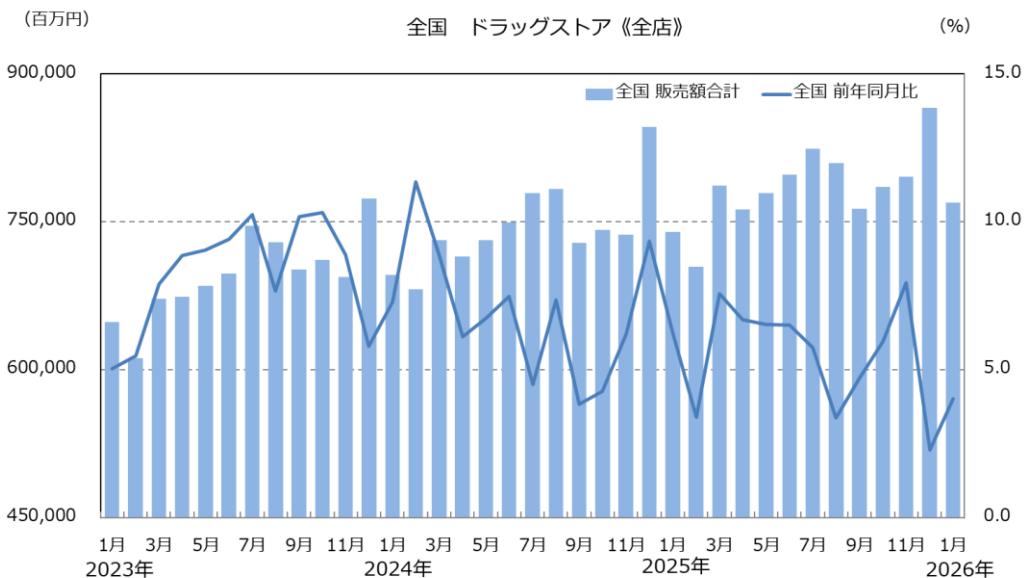
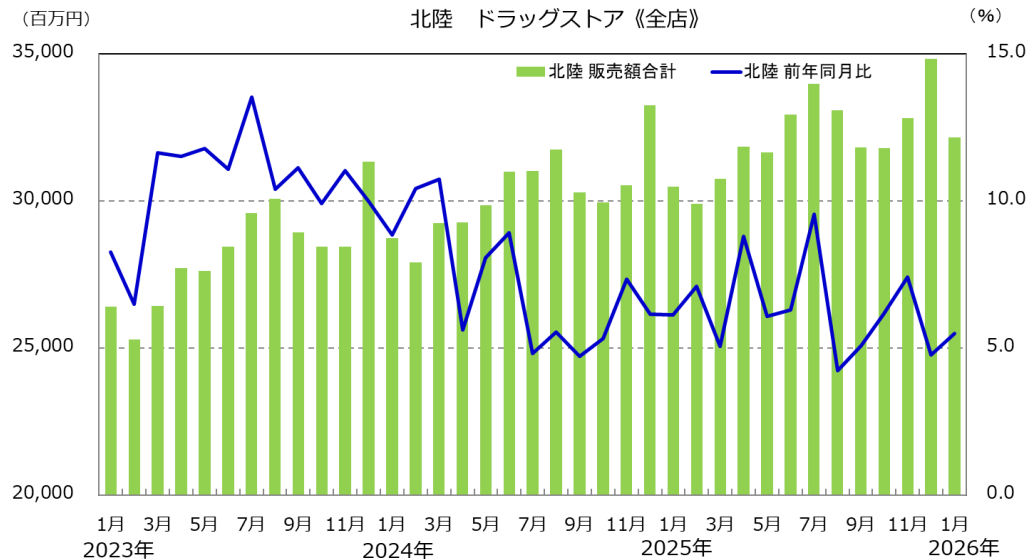
## 2. 個人消費

### (5) ドラッグストア販売額

ドラッグストアは、57か月連続で前年を上回った。

北陸 1月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
ドラッグストア	32,173	5.5

全国 1月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
ドラッグストア	769,302	4.0



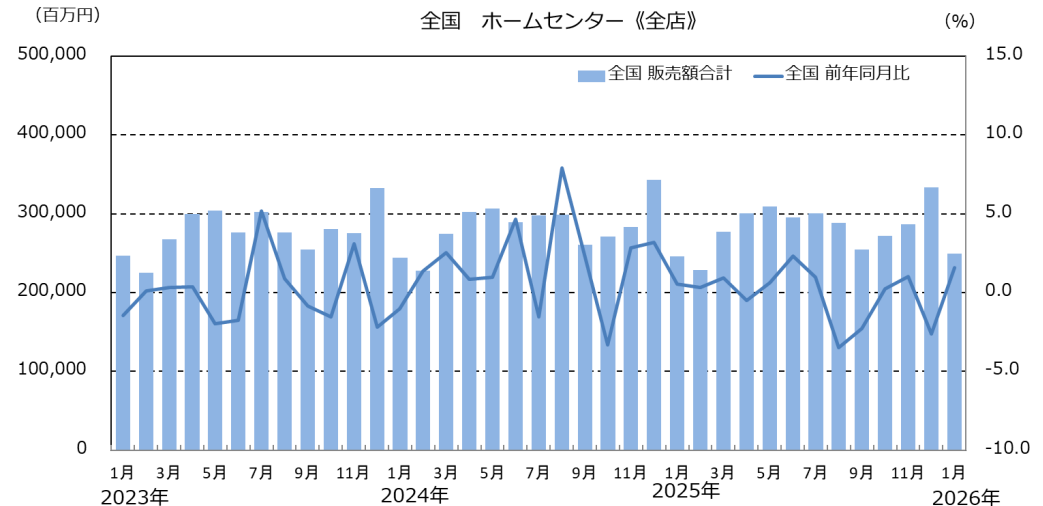
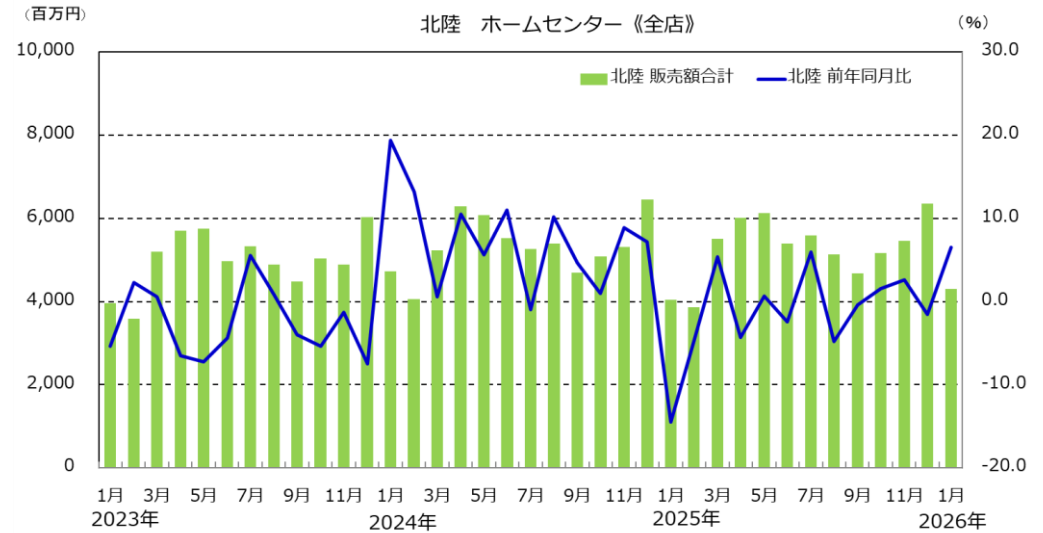
## 2. 個人消費

### (6) ホームセンター販売額

ホームセンターは、2か月ぶりに前年を上回った。

北陸 1月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
ホームセンター	4,306	6.5

全国 1月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
ホームセンター	249,647	1.6

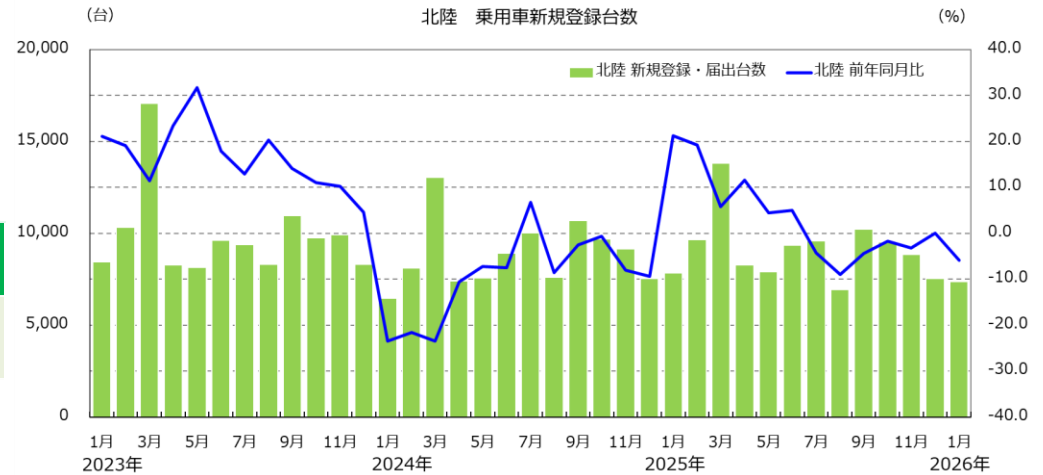


## 2. 個人消費

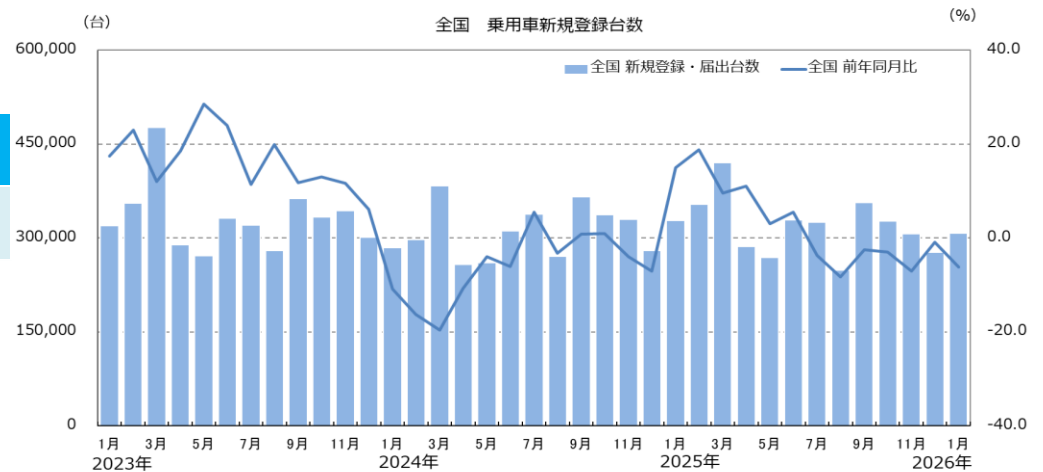
### (7) 乗用車新規登録・届出台数

2か月ぶりに前年を下回った。

北陸 1月	新規登録・届出台数	前年同月比
乗用車	7,370	▲ 5.9



全国 1月	新規登録・届出台数	前年同月比
乗用車	307,387	▲ 6.2



(出所) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

### 3. 設備投資

設備投資は、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている。

北陸地域の設備投資計画等

(前年度比・%)

	2023年度実績	2024年度実績	2025年度計画
全産業	14.6	2.3	32.8
製造業	26.8	1.7	53.0
非製造業	3.0	3.0	10.5

(出所) 日本銀行金沢支店 (北陸短観2025年12月調査)

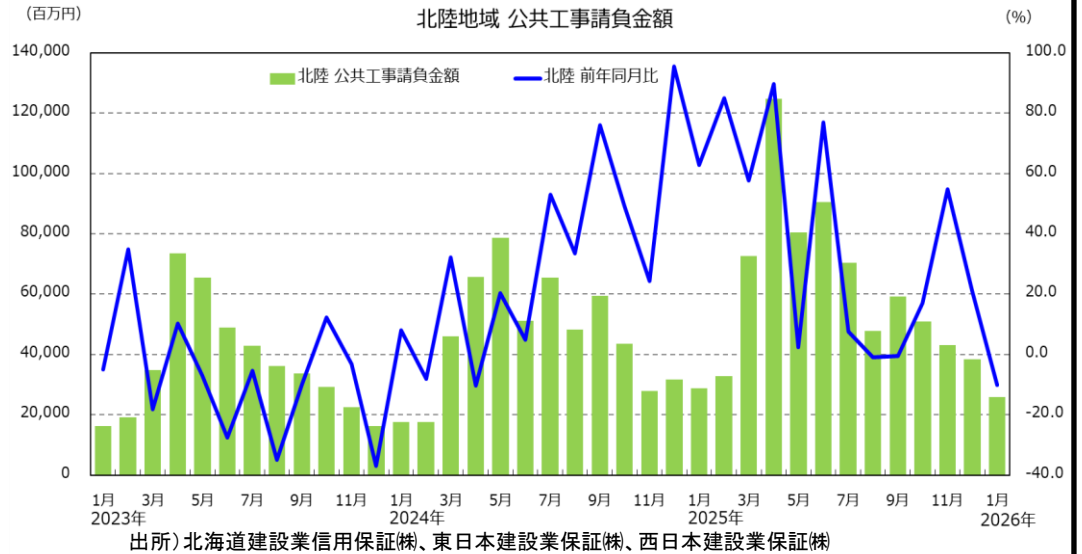
(注1) 調査対象企業は、資本金2千万円以上の民間企業(「金融機関」及び「経営コンサルタント業、純粋持株会社」を除く)。

(注2) ソフトウェア投資額・研究開発投資額を除くベース。

## 4. 公共投資

請負金額は、4か月ぶりに前年を下回った。

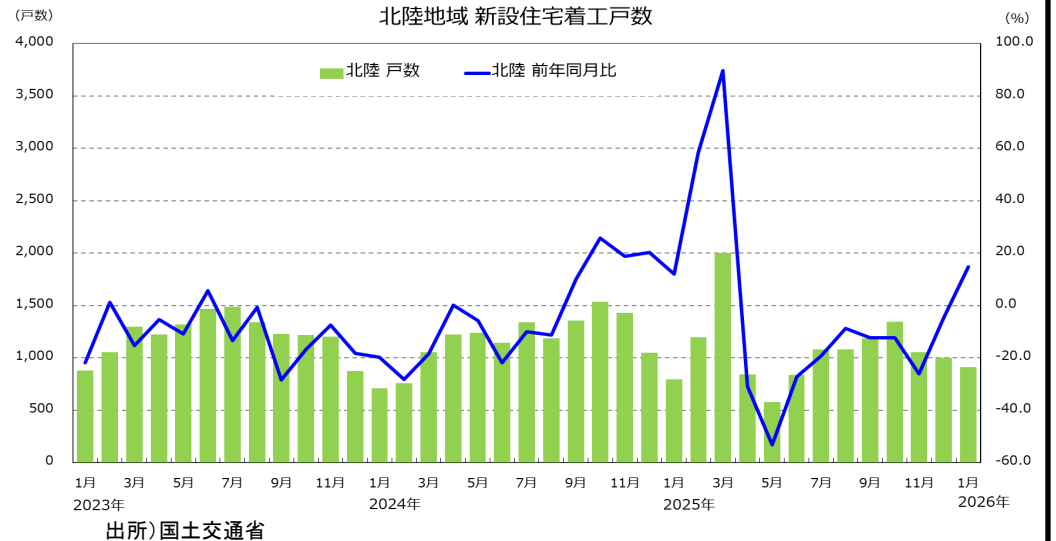
1月	総額 (百万円)	前年同月比
公共工事請負金額	25,778	▲ 10.2



## 5. 住宅投資

新設住宅着工戸数は、10か月ぶりに前年を上回った。

1月	戸数	前年同月比
新設住宅着工戸数	909	14.8



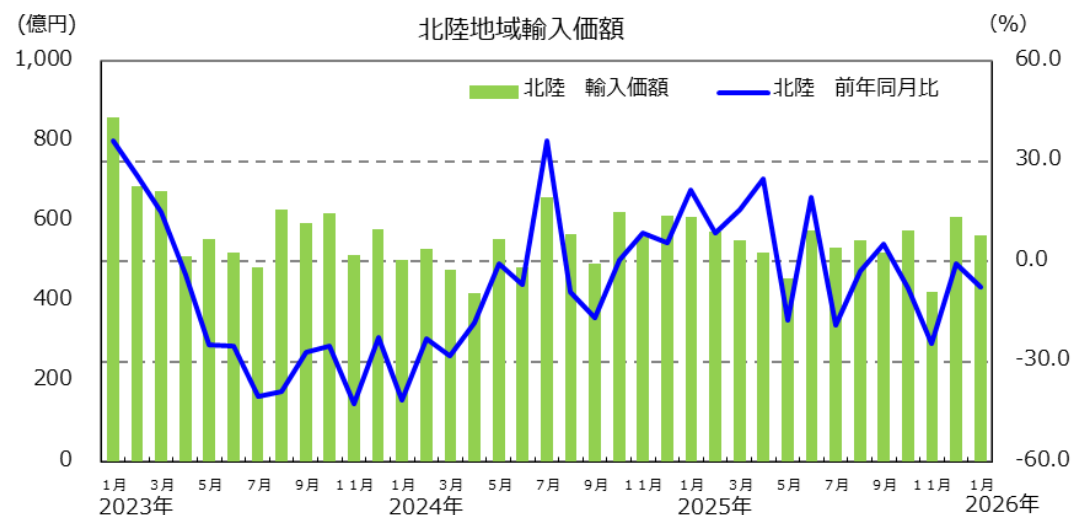
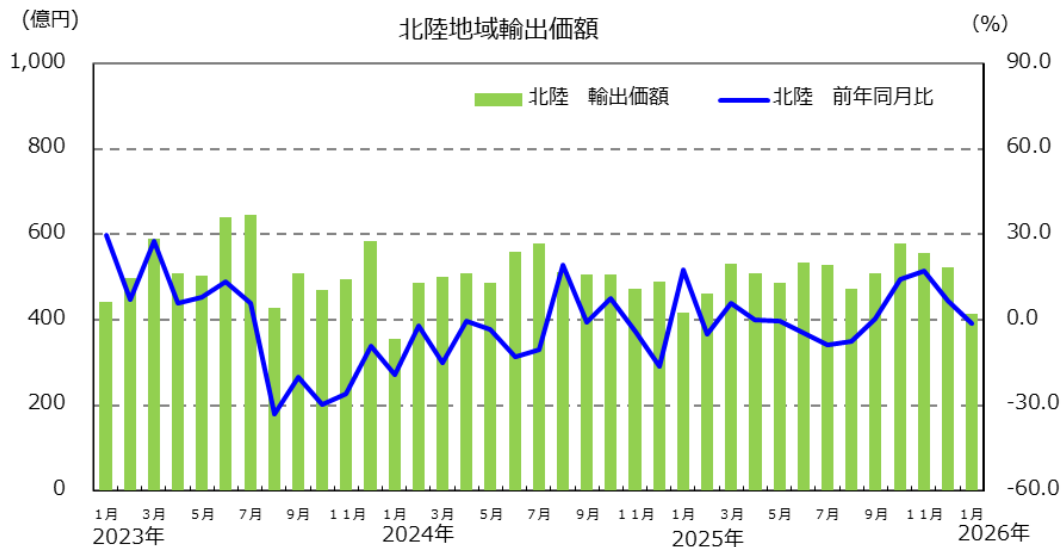
## 6. 貿易

(1) 輸出  
5か月ぶりに前年を下回った。

1月	輸出価額 (億円)	前年 同月比
北陸地域	414	▲ 1.1

(2) 輸入  
4か月連続で前年を下回った。

1月	輸入価額 (億円) p	前年 同月比
北陸地域	565	▲ 7.6

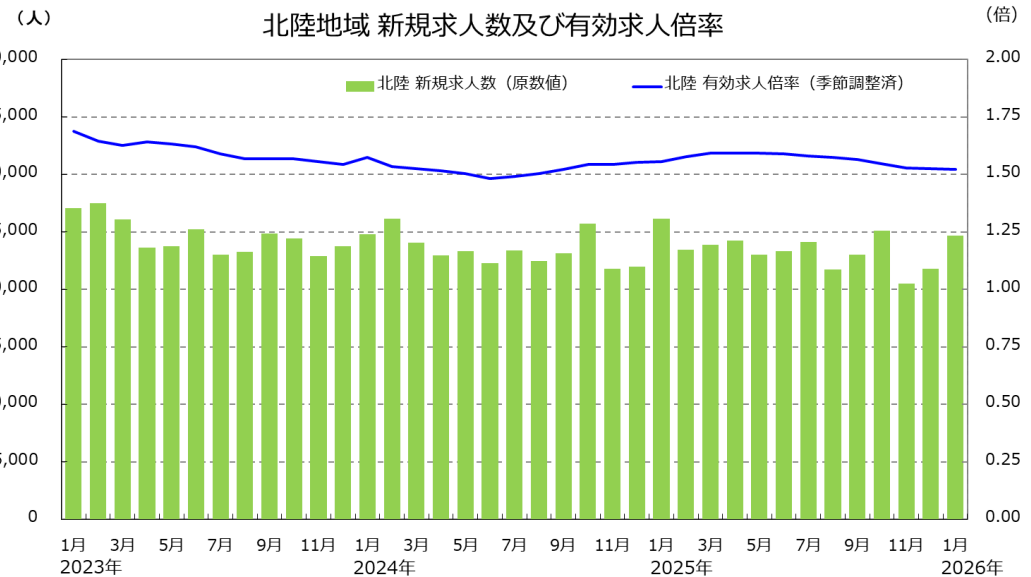


出所) 大阪税関

## 7. 雇用

新規求人数は、6か月連続で前年を下回り、有効求人倍率は前月と同値であった。

1月	上段：倍率 下段：人数	前年同月比
有効求人倍率	1.52	—
新規求人数	24,699	▲ 5.6



## 8. 企業倒産

企業倒産件数は、4か月ぶりに前年を上回った。

1月	件数	前年同月比
企業倒産件数	24	50.0

